

13 施設・設備

目標群

2003年度自己点検・評価項目に設定した目標

1. 既存教室のAV化
2. PC教室の増設もしくはレンタルラボの増設
3. 障がい者に対応した環境整備

2005年度以降に設定した目標

1. 既存教室のAV化 「既存教室のAV化をすすめる」に変更
2. PC教室の増設もしくはレンタルラボの増設 「情報機器および教材提示装置を充実する」に変更
3. 障がい者に対応した環境整備 「障がい者に対応した環境整備をすすめる」に変更

進捗状況報告

近年、AV機器の中ではDVDへの需要が高い。それに対応するため2006年度から2007年度にかけて新たにDVDプレーヤー（VHSビデオと兼用）を7台購入した。そのうち4台は教室に固定設置するのではなく、教育・研究資料準備室に備え、授業担当者が必要とするときに貸し出しできるようにしている。またプロジェクタについても、使用を希望する授業について、担当者に予め申し出てもらい、それに合わせて教育・研究資料準備室所属の教務補佐が教室へ設置に向かっている。

障がい者対応としては、2005年度に車椅子使用の学生が2名入学したことから、F号館1階のトイレと休憩室を改修し、休憩室は介護用に供している。また本館の事務室の出入り口の一部を引き戸式に改修し、車椅子利用者の出入りが容易にできるようにした。また、2004年入学の視覚障がいの学生へは、読書室に拡大読書機を設置した。さらに2007年にキャンパス自立支援課と共同して、本館2階端末室のパソコンに音声ソフトをインストールして学習・研究支援体制を整えた。

学内第三者評価

既存教室のAV化の進展は評価できる。障がい者への施設・設備面での配慮はすぐれた取り組みである。